

若き研究者へのエール



学校法人立命館 副総長
立命館大学 副学長
COI 立命館拠点 RL

伊坂 忠夫



1. 立命館大学拠点の取り組み
2. 10年後の社会の予想
3. 次世代への期待
4. 将来展開
5. 若き研究者へのエール

資料のダウンロード：<http://www.activeforall.jp/topics/556/>



立命館 COI



* アクティブ・フォー・オール拠点HPより資料をご確認ください





運動の生活カルチャー化により
活力ある未来を創る
アクティブフォーオール拠点



運動の生活カルチャー化



運動の生活カルチャー化による活力ある社会の実現

～「スポーツ・運動」と「医療」の両面から健康を維持・増進 寝たきりゼロの社会へ～



- 既に意識の高いアクティブ層は運動の習慣化
- 非アクティブなシニア/社会人/子どもにとって運動が生活の一部として習慣化

社会課題

個人にとってQoLの向上

平均寿命と健康寿命に10年超のギャップがあり、晩年のQoLは著しく低下

社会にとって医療財政負担の低減

健康を損なった晩年に人生の46%の医療費が費やされる



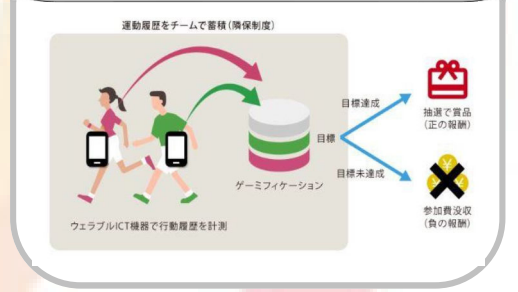
スマートウェアの研究開発



ピンスポットオーディオの研究開発



運動誘導・継続システムの研究



Active for All

ロコモ発病予防の研究



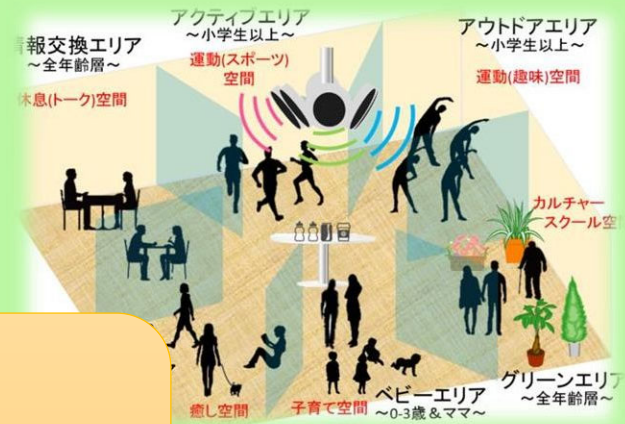
ロコモ進展予防の研究



スマート教育教材



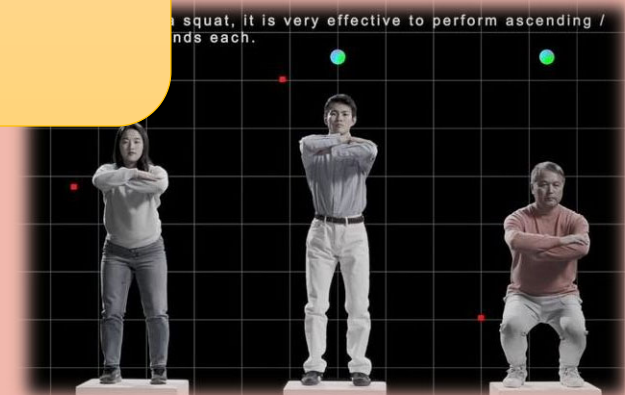
ピンスポットオーディオ



Active for All



スマートフィットネス

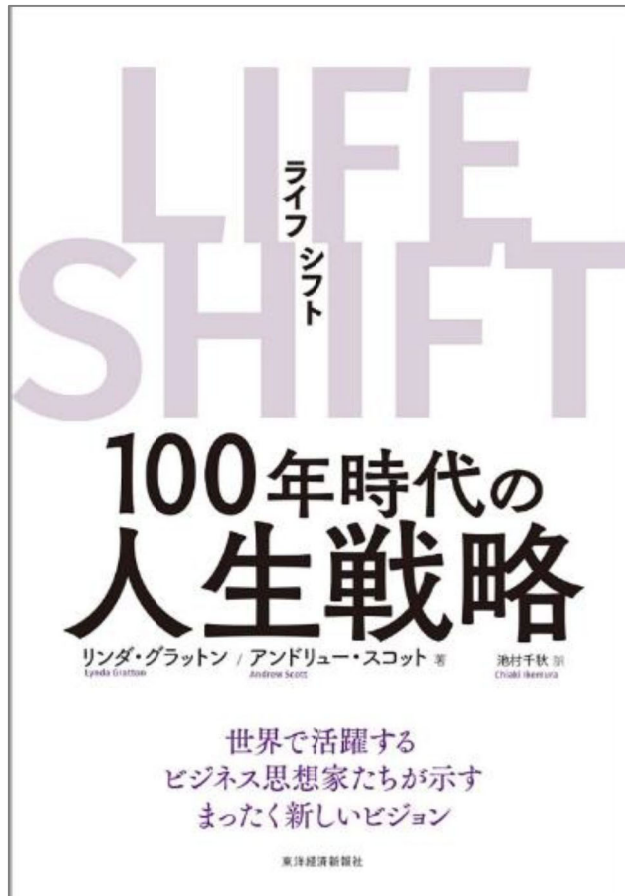


バイタルデータアート化



1. 立命館大学拠点の取り組み
2. **10年後の社会の予想**
3. 次世代への期待
4. 将来展開
5. 若き研究者へのエール





『ライフシフト』

(リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著2016)

→人生100年時代

従来の考え方

教育(約20年)→仕事(40年)→引退・老後(10-15年)

= 単線型の過ごし方

寿命が延び、働く期間の延長、テクノロジーの進展

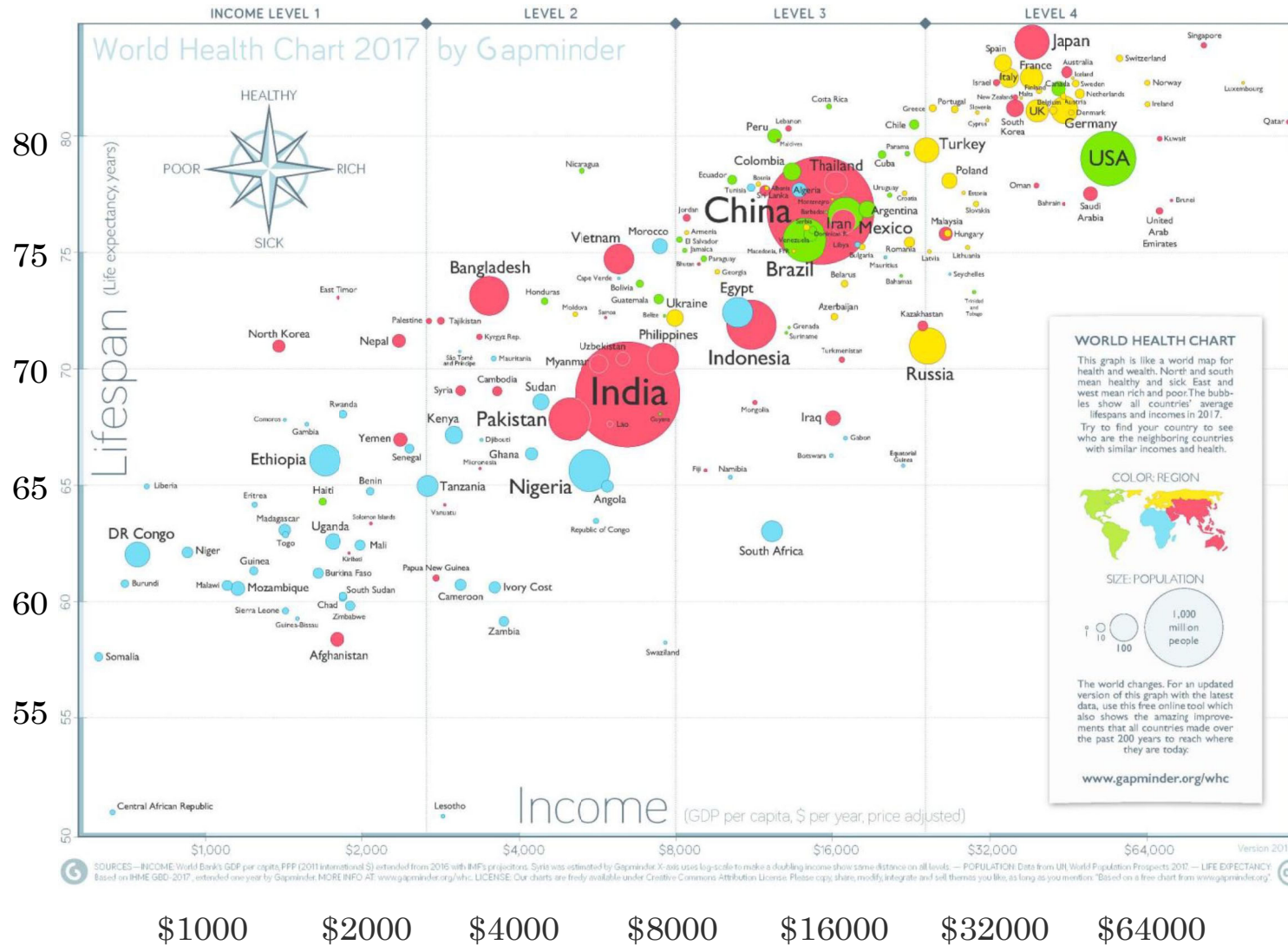
単線型でなく、個別型・複線型の過ごし方
同じような流れではなく

例) 一定期間働き→スキル修得の教育→新しい仕事

社会の変化、テクノロジーの進展により、
ひとつのモデルでは捉えられず

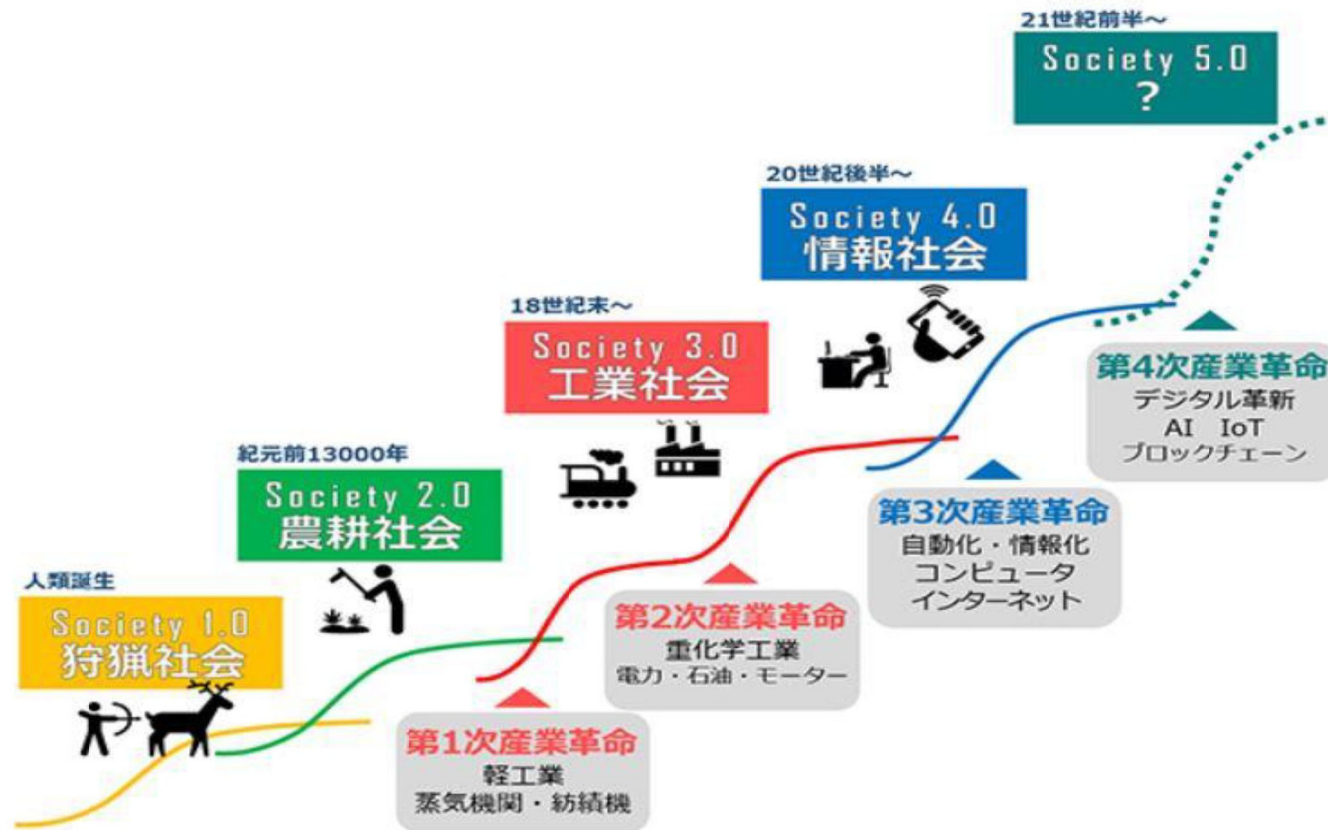
個別最適化したモデルを自身が構築する時代





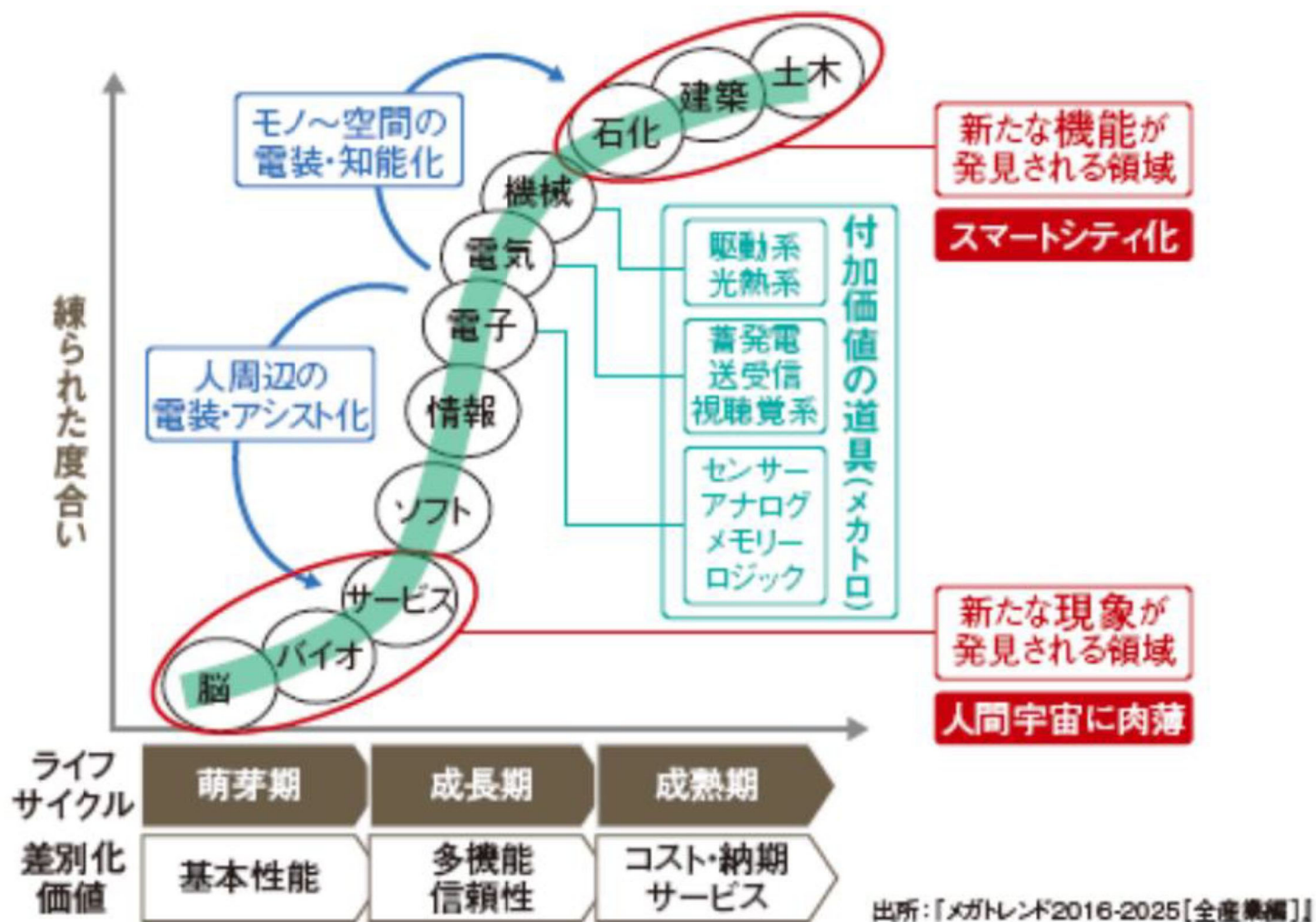
『FACTFULNESS』 ハンス・ロリング他著 (2019より)





- ① サイバー空間とフィジカル空間の高度な融合
- ② 地域、年齢、性別、言語等の格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供可能
経済的発展と社会的課題の解決を両立し、
- ③ 人々が快適で活力に満ちた質の高い生活が実現できる社会





技術のライフサイクル曲線と電装化の関係



1. 立命館大学拠点の取り組み
2. 10年後の社会の予想
3. **次世代への期待**
4. 将来展開
5. 若き研究者へのエール



SUSTAINABLE WEEK2018 (2018.10.14~16)



SUSTAINABLE WEEK 立命館



大学SDGs ACTION! AWARDS 2019

立命館アジア太平洋大学がグランプリ受賞

「Plushindo:チャンスを作り出し、視点を変える」



出典：朝日新聞DIALOG

大学SDGs ACTION! AWARDS 2018

立命館大学がグランプリ受賞

「誰ひとり取り残さないSDGsカレー」

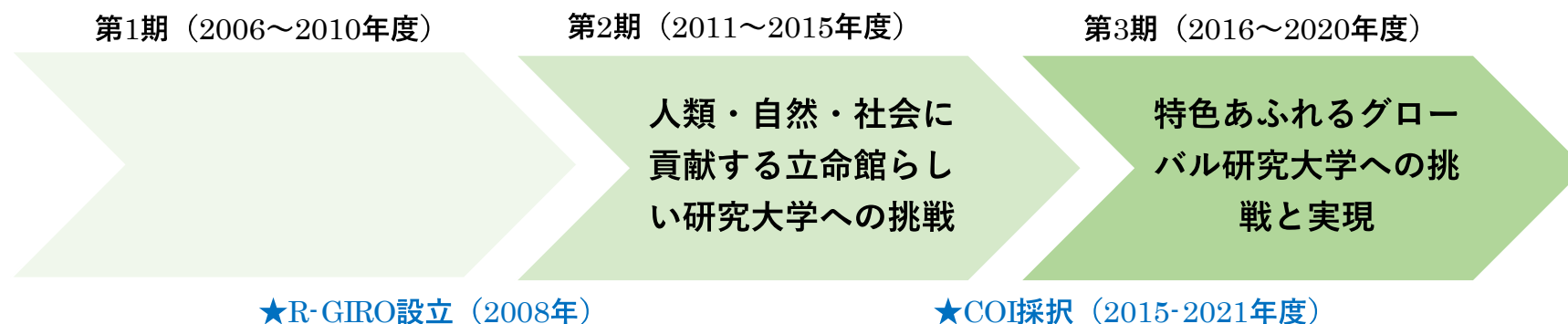


出典：朝日新聞DIALOG

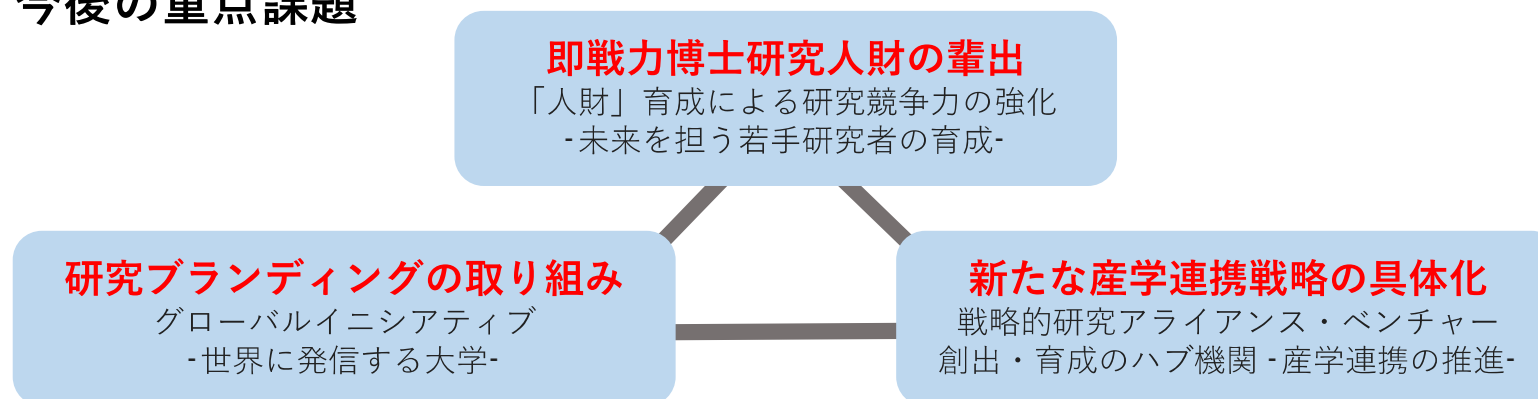
大学 SDGs ACTION! AWARDS 立命館



● 研究高度化中期計画



● 今後の重点課題



イノベーションがより興りやすい環境を整備するとともに、
産学官の人財・知・資源を結集し、協創を誘発する「場」を形成する



エコプロ2019への出展 ～小・中学生を招いたワークショップ開催～



立命館学園展示ブース



ワークショップ「大学研究者と未来を探求してみよう」

エコプロ 立命館



超創人材 立命館



博士課程 超創人材育成プログラム

- 自ら創造し、発見し、解決し、実行できる人材育成を目指す。
- 社会とつながりながら未知の課題へ挑戦し、イノベーションを創出する



立命館SDGs推進本部新事業：RIMIX

RIMIX 立命館



- 新たな人材育成の枠組みとして企業と連携した初等・中等教育段階からの**社会起業家養成支援 (Impact-Makers)**
- 学生・生徒・児童の問題意識とチャレンジ精神を起点に、挑戦から起業までを支援。社会課題を積極的に解決する人材の養成を目指す。



立命館・社会起業家支援プラットフォーム

RITSUMEIKAN Impact-Makers

社会にインパクトを与える人

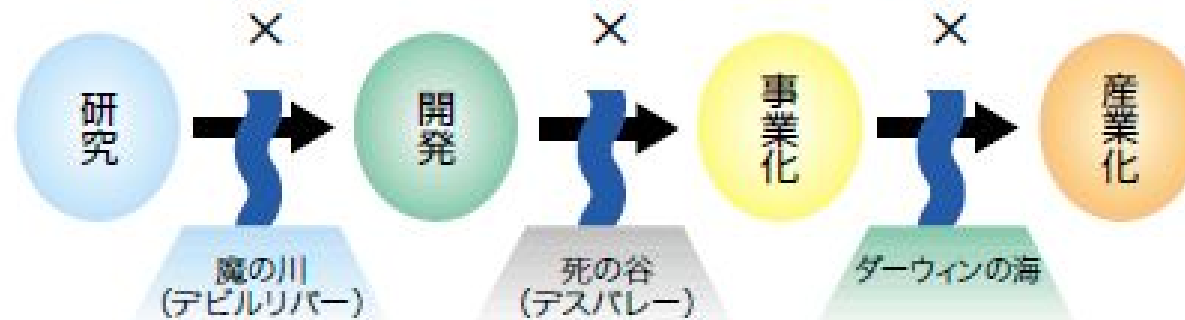
Inter X(cross) Platform

立命館内外の異種交流

2019年9月開始



事業化への4つのステージと3つの障壁



原因の例	<ul style="list-style-type: none"> ●研究と開発はベクトルが異なることに起因、ベクトルは研究はシーズ指向、開発はニーズ指向。 	<ul style="list-style-type: none"> ●開発は「製品開発」のことが多い。これを「商品開発」とするために顧客対応が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●経営として販売（営業）、生産（工場）、開発等一体となった事業経営体制が必要。 ●タイミングのよい大幅な投資が必要。
克服手段	<ul style="list-style-type: none"> ●研究成果を基にマーケティングにより開発ターゲットを明確にして研究成果を開発プロジェクトへ移す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●マーケティングから販売に軸足を移す。営業、製造を含めた事業化プロジェクトとして顧客対応体制を明確にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業分野がよく分かっている経営者によるリーダーシップとリスクテaking（管理）。

出川通（2006）

COIのビジョン：今の夢を10年後の常識に！新しい未来を創ろう！

10年後の常識を創るために、研究開発を事業化・産業化できる人材（企業在籍のPL、パートナー企業等）と手を結び、ビジョンを実現化



1. 立命館大学拠点の取り組み
2. 10年後の社会の予想
3. 次世代への期待
4. **将来展開**
5. 若き研究者へのエール



学園ビジョンR2030

挑戦をもっと自由に

Challenge **your** mind

Change **our** future



1. 未来社会に貢献する新しい研究分野の創出と教学の高度化
2. 次世代研究大学を実現する大学院教学の高度化
3. 学習者の多様なニーズに向き合う学びの再構築
4. オープン・イノベーションを推進する連携システムの整備
5. 一人ひとりが**チェンジメーカー**になる組織変革

チェンジメーカー = イノベーションを起こす人材



例えば・・・

【馬車から鉄道】

- 馬車100頭つないでも鉄道にならない
- 直列的な発想だけでは上手くいかない

→ 技術革新の前に、**発想の革新**が必要

【クイズ】最初に鉄道が走った場所は？

【答え】 鉄道を考えた人の頭の中

イノベーションは新しいアイデア、
アイデアの**組み合わせ**から起こる



1. 立命館大学拠点の取り組み
2. 10年後の社会の予想
3. 次世代への期待
4. 将来展開
5. 若き研究者へのエール



例えば…

- 17歳【手塚治虫】漫画家デビュー
- 18歳【ビル・ゲイツ】Microsoft社創業
- 20歳【ザッカーバーグ】facebookを創業
- 22歳【アイザック・ニュートン】万有引力を発見
- 24歳【吉田松陰】ペリーの黒船に乗り込む
- 26歳【アインシュタイン】「特殊相対性理論」等5つの論文を提出

※大器晩成型

50歳【チャールズ・ダーウィン】『種の起源』の出版

53歳【イワン・パブロフ】条件反射（パブロフの犬）の発見



**時代を切り拓いてきたのは、
若い人びとである！**



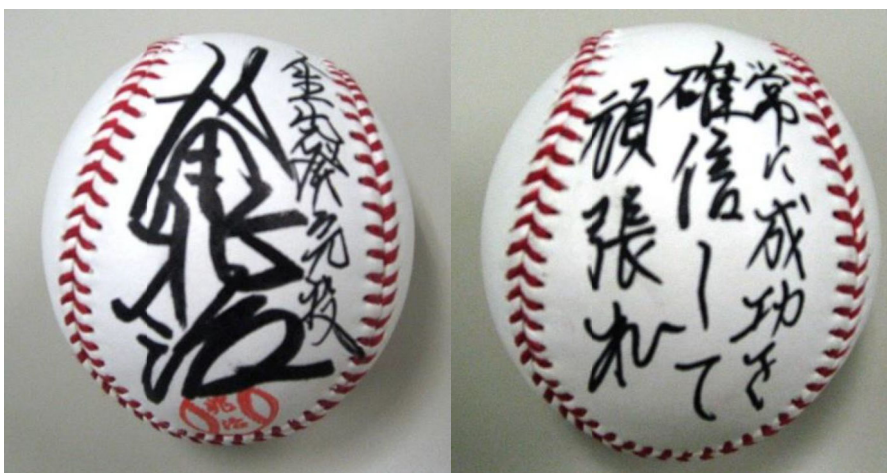
Society5.0時代は従来の**学び方・働き方・生き方**が大きく変化する

従来型の研究者像に加え、研究者をプロデュースする人材（URA等）や新しい教育を受けて育つ未来の大人と**協働し、協創し、次世代を作り出す**研究者が求められる。

**協働・協創する
イノベーションメーカー**



みなさんの発展と成功を願っています
ご清聴ありがとうございました



感想、意見、コメントなどをお寄せください

isaka@se.ritsumei.ac.jp

